

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン
コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日(氏名) 湧田 節夫
(氏名) 井手 秀博
配当支払開始予定日TEL 03-6219-8829
平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	114,546	△11.4	4,692	—	5,556	290.3	2,692	59.1
21年3月期第2四半期	129,299	—	415	—	1,423	—	1,692	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	73.60	—
21年3月期第2四半期	44.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	207,951	151,082	72.3	4,193.73
21年3月期	224,168	155,478	69.0	4,132.75

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 150,332百万円 21年3月期 154,763百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
22年3月期	—	60.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,300	△10.7	9,700	90.6	10,900	66.2	5,700	—	159.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 1社 (社名 オートバックストラウスINC.)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	37,454,204株	21年3月期	39,255,175株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,607,240株	21年3月期	1,807,153株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	36,580,065株	21年3月期第2四半期	37,810,305株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました内容から変更しております。業績予想に関する事項につきましては、本日平成21年11月6日公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 2.本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策の効果などにより、一部持ち直しの動きがみられたものの、企業収益や雇用・所得環境の悪化などに伴う先行き不安から、個人消費の冷え込みが続き、厳しい状況が続きました。

自動車関連消費におきましては、環境対応車の購入を対象とした減税・補助金制度の効果により、対象車種の売れ行きは伸びたものの、自動車販売全体としては低調に推移いたしました。しかしながら、高速道路一部料金引き下げとETC車載器購入助成制度の導入によりETC車載器の需要が大きく伸びるとともに、レジャーでマイカーを利用する機会が増加したことや車齢の長期化が進んでいることから、消耗品やメンテナンス関連商品などの需要が強まりました。

このような事業環境を反映して、日本国内のフランチャイズ加盟店舗を含むオートボックスチェーンにおける「カー用品販売」は、需要の高いETC車載器の商材確保とスムーズな販売体制の整備、長距離ドライブ関連商品の拡販、プライベートブランド・専売商品数の拡大などに努めた結果、ETC車載器、カーナビゲーション、オイル、洗車関連用品などの売上が好調に推移いたしました。「車検・整備」は、車検のニーズ拡大を好機と捉え、ポイントカード会員向けの電話による勧誘を実施したことなどにより、車検実施台数は前年同期比15.4%増加の約20万7千台となりました。これらの結果、主要業態であるオートボックス、スーパーオートボックス、オートハローズにおける「カー用品販売」と「車検・整備」を合わせた売上高の前年同期比は全店で3.9%、既存店で3.1%増加いたしました。

「車販売・買取」では、当連結会計年度から当事業の加盟店を絞り込んだことにより販売台数は減少したものの、各店舗での販売訓練などオートボックスチェーンの成功モデルの確立に努めており、店舗あたりの販売台数は増加しております。当第2四半期連結累計期間における当社への販売を含むフランチャイズ加盟店舗の販売台数は、前年同期比26.2%減少の8,222台となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比11.4%減少の1,145億46百万円となりました。主に国内フランチャイズ加盟法人に対する売上で構成される卸売部門では、ETC車載器、オイル、補修用品などが好調だったものの、景気低迷や若年層のクルマ離れの影響を受け、ホイールやカースポーツ用品などの売上が減少いたしました。また、タイヤにおいて、前年同期の値上げ前の駆け込み需要に対する反動とプライベートブランド・専売商品の構成比上昇に伴う単価下落などにより売上が減少いたしました。さらに中期経営計画の施策実施に伴い、フランチャイズ事業の譲渡を行なった二輪用品売上や株式会社ダイヤ・ボックスの合弁解消に伴う燃料の売上、取り扱い店舗の絞り込みを行った自動車販売売上が減少いたしました。これらの要因により卸売部門の売上高は前年同期比7.5%減少の648億29百万円となりました。小売部門では、国内の店舗子会社においてETC車載器などのカー用品と車検の売上が好調に推移いたしました。海外子会社においては、フランスにおける景気低迷、中国における店舗網縮小および為替変動の影響などにより売上が減少いたしました。さらに、中期経営計画の施策実施による米国事業からの撤退、台湾子会社の株式譲渡、二輪用品販売店舗の売却および株式会社カーズ札幌の清算に伴う売上減少などにより、小売部門の売上高は前年同期比16.4%減少の478億63百万円となりました。

売上総利益は事業の整理などに伴い減少したものの、国内において商品の絞り込みなど売上原価低減の取り組み強化、ETC車載器やその取り付け工賃の売上比率の上昇、売上総利益率の低い事業からの撤退などにより、売上総利益率は前年同期の30.6%から31.7%に上昇いたしました。販売費及び一般管理費は海外子会社などの事業の整理に伴う減少に加え、ITシステム関連費用や広告宣伝費などの削減などにより前年同期比19.2%減少の316億52百万円となり、売上高に対する比率は前年同期の30.3%から27.6%に改善いたしました。これらの結果、営業利益は前年同期に比べて42億76百万円増加の46億92百万円となりました。経常利益は、営業外損益において前年同期に比べて受取配当金が減少したものの、投資有価証券評価損も減少したことなどにより、前年同期比290.3%増加の55億56百万円となりました。さらに、特別利益としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式を第三者に譲渡したことにより事業再構築引当金戻入額と当該株式の売却益など38億97百万円を計上いたしました。また、特別損失としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式譲渡に伴う貸倒引当金繰入額および株式会社多摩ドライビングスクールと株式会社西武自動車学校の固定資産減損損失など44億82百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比59.1%増加の26億92百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7.2%、162億16百万円減少し、2,079億51百万円となりました。これは、主に連結除外となったオートボックストラウスINC.の諸資産が減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17.2%、118億20百万円減少し、568億69百万円となりました。これは、未払法人税等が増加した一方で、主に米国事業の撤退に伴う事業再構築引当金が減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.8%、43億96百万円減少し、1,510億82百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、剰余金の配当等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、営業活動による資金の獲得84億95百万円、投資活動による資金の支出40億7百万円、財務活動による資金の支出91億42百万円等により前連結会計年度末に比べ46億83百万円減少し、470億65百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主に、仕入債務の減少22億65百万円がありました一方で、税金等調整前四半期純利益49億72百万円および売上債権の減少27億25百万円等があり、84億95百万円の資金の獲得（前第2四半期連結累計期間は21億74百万円の資金の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主に、有価証券の取得による支出19億96百万円および有形及び無形固定資産の取得による支出10億31百万円等があり、40億7百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は4億87百万円の資金の獲得）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

主に、自己株式の取得による支出53億71百万円および長期借入金の返済による支出20億8百万円等があり、91億42百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は60億31百万円の資金の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、個人消費など依然厳しい状況が継続すると見込まれることから、平成22年3月期下期の業績は平成21年5月15日公表の予想を据え置くものの、当第2四半期連結累計期間における業績が前回公表の予想を上回ったことから、当初の予想を上回る見込であります。詳細につきましては、本日平成21年11月6日公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

第1四半期連結会計期間より連結子会社であったオートボックストラウスINC.はオートボックスU.S.A., INC.が所有する株式をすべて譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,247	39,140
受取手形及び売掛金	22,686	23,645
有価証券	10,556	13,830
商品	18,459	21,200
その他	36,649	39,833
貸倒引当金	345	683
流動資産合計	130,253	136,968
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,977	23,907
その他(純額)	15,583	17,085
有形固定資産合計	37,561	40,992
無形固定資産		
のれん	1,218	1,431
その他	6,739	9,399
無形固定資産合計	7,958	10,830
投資その他の資産		
差入保証金	20,994	21,279
その他	15,893	14,748
貸倒引当金	4,708	651
投資その他の資産合計	32,178	35,376
固定資産合計	77,698	87,199
資産合計	207,951	224,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,904	16,457
短期借入金	2,705	3,307
未払法人税等	2,755	414
事業再構築引当金	1,244	4,826
その他の引当金	418	408
その他	15,374	19,427
流動負債合計	36,402	44,842
固定負債		
社債	90	140
長期借入金	11,259	12,496
引当金	373	429
その他	8,743	10,781
固定負債合計	20,466	23,847
負債合計	56,869	68,689

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,277	34,511
利益剰余金	87,377	94,297
自己株式	5,399	8,000
株主資本合計	150,254	154,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21	217
為替換算調整勘定	57	173
評価・換算差額等合計	78	44
少数株主持分	749	715
純資産合計	151,082	155,478
負債純資産合計	207,951	224,168

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	129,299	114,546
売上原価	89,708	78,202
売上総利益	39,590	36,344
販売費及び一般管理費	39,174	31,652
営業利益	415	4,692
営業外収益		
受取利息	180	109
受取配当金	266	12
持分法による投資利益	-	33
情報機器賃貸料	759	631
その他	2,853	1,729
営業外収益合計	4,059	2,516
営業外費用		
支払利息	136	110
持分法による投資損失	18	-
投資有価証券評価損	1,146	84
情報機器賃貸費用	806	625
その他	942	830
営業外費用合計	3,050	1,651
経常利益	1,423	5,556
特別利益		
リース会計基準の適用に伴う影響額	4,651	-
事業再構築引当金戻入額	-	3,582
その他	554	315
特別利益合計	5,206	3,897
特別損失		
減損損失	1,300	447
貸倒引当金繰入額	-	3,776
その他	153	258
特別損失合計	1,453	4,482
税金等調整前四半期純利益	5,176	4,972
法人税、住民税及び事業税	1,217	2,672
法人税等調整額	2,273	452
法人税等合計	3,491	2,220
少数株主利益又は少数株主損失 ()	6	60
四半期純利益	1,692	2,692

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,176	4,972
減価償却費	2,998	2,454
減損損失	1,300	447
のれん償却額	199	205
事業再構築引当金の増減額(は減少)	-	3,582
貸倒引当金の増減額(は減少)	600	3,728
受取利息及び受取配当金	447	121
支払利息	136	110
為替差損益(は益)	368	8
持分法による投資損益(は益)	18	33
リース会計基準の適用に伴う影響額	4,651	-
投資有価証券評価損益(は益)	1,146	84
売上債権の増減額(は増加)	1,184	2,725
リース投資資産の増減額(は増加)	1,037	298
たな卸資産の増減額(は増加)	2,329	29
仕入債務の増減額(は減少)	622	2,265
その他	3,812	1,546
小計	463	7,442
利息及び配当金の受取額	488	133
利息の支払額	138	109
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	2,061	1,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,174	8,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	1,996
有価証券の償還による収入	500	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	3,724	1,031
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,445	300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	236	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	833
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	203
貸付けによる支出	230	120
貸付金の回収による収入	291	310
その他	440	839
投資活動によるキャッシュ・フロー	487	4,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	315	81
長期借入れによる収入	400	250
長期借入金の返済による支出	954	2,008
自己株式の取得による支出	2,454	5,371
配当金の支払額	2,674	1,871
その他	32	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,031	9,142

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	28
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,671	4,683
現金及び現金同等物の期首残高	49,637	51,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,966	47,065

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

当社グループ（当社および連結子会社）は、カー用品の販売を主事業としておりますが、このカー用品の販売事業の売上高および営業利益の金額が全セグメントの売上高および営業利益の金額のいずれも90%超となっているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	113,749	8,666	4,848	2,033	129,299	-	129,299
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	254	-	-	84	338	338	-
計	114,003	8,666	4,848	2,117	129,637	338	129,299
営業利益又は営業損失()	1,783	1,144	86	137	415	-	415

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米.....米国
- (2) 欧州.....フランス
- (3) アジア.....中国、台湾、タイ、シンガポール

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で58百万円減少しております。

(リース取引に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で32百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

米国事業の撤退により、本邦の売上高が全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超になったため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	計
海外売上高（百万円）	8,666	4,848	1,632	15,148
連結売上高（百万円）				129,299
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	6.7	3.8	1.3	11.7

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米.....米国

(2) 欧州.....フランス

(3) アジア.....中国、台湾、タイ、シンガポール

3．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

米国事業の撤退により、海外売上高が連結売上高の10%未満になったため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年5月15日開催の取締役会決議により、平成21年5月18日から平成21年7月24日までの期間に自己株式1,600,000株、取得価額の総額5,369百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成21年5月22日に自己株式1,800,971株の消却を実施したことにより、自己株式が7,974百万円減少し、あわせて利益剰余金7,739百万円、資本剰余金234百万円減少いたしました。

6. その他の情報

部門別連結売上高および構成比率

部門	前年同四半期 (平成21年3月期 第2四半期)		当四半期 (平成22年3月期 第2四半期)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
卸売部門	70,071	54.2	64,829	56.6	7.5
小売部門	57,257	44.3	47,863	41.8	16.4
その他	1,970	1.5	1,853	1.6	5.9
合計	129,299	100.0	114,546	100.0	11.4

(注)「その他」はリース料収入であります。

商品別連結売上高および構成比率

品目	前年同四半期 (平成21年3月期 第2四半期)		当四半期 (平成22年3月期 第2四半期)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
タイヤ・ホイール	23,864	18.5	20,644	18.0	13.5
カーエレクトロニクス	33,184	25.7	35,009	30.6	5.5
オイル・バッテリー	12,928	10.0	11,977	10.5	7.4
車外用品	13,514	10.5	10,133	8.8	25.0
車内用品	12,541	9.7	10,959	9.6	12.6
カースポーツ用品	8,725	6.7	7,313	6.4	16.2
サービス	9,472	7.3	8,386	7.3	11.5
その他	15,066	11.6	10,122	8.8	32.8
合計	129,299	100.0	114,546	100.0	11.4

(注)「その他」は車販売収入、リース料収入等であります。